

謹賀新年

あけましておめでとぅございませう

皆様におかれましては、令和3年の新春を迎え、希望に溢れる輝かしい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様からの温かいご支援を賜り、引き続き2期目の重責を担わせていただくことになり、市長就任以来掲げてまいりました「合併後の「一体化」と「先人の育てた、住みよい、暮らしやすい東温市を受け継ぎ、守り育て、さらに良くして次の世代に渡していく」ことを基本方針に、全力で東温市のまちづくりを進めてまいりますのでよろしくお願いたします。

昨年は日本国民にとつて、大きな期待と希望に溢れるオリンピック・

パラリンピックが開催される輝かしい年として幕を明けましたが、世界中に広がる新型コロナウイルス感染症の猛威によって、我々の生活は一変してしまいました。

本市におきましては国の緊急事態宣言を受け、市内小中学校の臨時休業、不要不急の外出や事業活動の自粛に伴う市内経済への打撃など、前例のない状態に終息も見えず緊張感が高まる中、感染拡大への防止対策や中小零細企業支援など、できる限りのスピード感をもって独自の支援策に取り組んでまいりました。

これから当分の間は今の状況が続くと予想され、新しい生活様式を取り入れた社会経済活動や、人口が集中する都市部から地方移住への関心の高まりなど、さまざまな社会的変化に対応することが求

められています。現在本市では、

少子高齢化・人口減少にも対応した持続可能な地域社会を構築するため、「第2次東温市総合計画後期基本計画」の策定を進めております。昨年4月にオープンした総合保健福祉センターを健康・福祉・介護・教育の拠点としてフルに活用し、市内関係機関と連携した、生涯健康のまちづくりを目指してまいります。また、令和5年度末の供用開始を目指す(仮称)東温スマートインターチェンジの早期実現をはじめ、GIGAスクール構想実現のため小中学生1人1台のタブレット端末の配置や、重信川の上流を預かるまちとしての環境

政策の推進など、各種施策に取り組んでまいります。

地方自治体の行政運営は、これまで以上に厳しさが増します。さらなる行政改革やデジタル化の積極的な推進により、市民サービスの維持・向上に取り組み、皆様と共に「温か笑顔の東温市」の実現に向けて邁進してまいりますので、どうぞ変わらぬご支援とご協力を願いたします。

皆様にとりまして、今年一年が素晴らしい年となりますよう心から祈念いたしましたして、年頭のご挨拶といたします。

